※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１８

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等	生活学 Navi　資料＋成分表（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題を講義・実験・実習・演習形式等、さまざまな授業形態を通して、自らが主体的に考え、行動し、実際の生活の場で実践的に生かせるようにしましょう。

・また、家庭において日常生活を丁寧にすごすこと、多様なメディア、新聞を読むこと等で、ニュースを視聴すること、これらが、家庭科の学習において大切な家庭学習になります。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

生涯の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営みために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（２）　家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

（３）　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しょうとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして、基礎的なことを理解しており、実践的な態度を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第６章 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える	・よりよい食習慣を身につけ,生涯を健康に過ごすために,食生活の課題や食事の意義,食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ・より良い食生活ができるように,栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について,科学的な理解を深める。 ・安全で衛生的な食生活を営むために食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みを理解する。 ・食生活の自立に向けて必要な調理技術を身に着ける。 ・郷土食や日本の食文化について理解を深める。	a: 栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で主体に営むための知識を身に着けている。 b:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等について課題を見つけ、その解決をめざして考え、適切に判断し、表現している。 また、調理実習を通して技術を活用できている。 c:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 レポート 作品など	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど
	第１章 生涯を見通す	・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。	a:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身につけている。 b:青年期にある自分を見つけ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:青年期の生き方について関心を持ち、意識的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど

※令和４年度以降入学生用

	第２章 人生をつくる	・自分のライフスタイルを考えることができるように、様々な生き方について理解する。 ・よりよい家庭生活を実現するために家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 ・仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについても理解する。	a：生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身につけている。 b：生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c：家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど
二学期	第３章 子どもと共に育つ	・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるため、 子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるため、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。	a:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど

※令和４年度以降入学生用

	第４章 超高齢社会を共に生きる	・超高齢社会の背景を理解する ・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。	a: 高齢者と適切に関わることができ、高齢者の自立生活を支える技術を身につけている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 レポート	プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど
	第９章 経済生活を営む	・自立した責任ある消費者として現代の消費生活を理解する。 ・販売方法や支払い方法・契約について理解を深める ・生涯安定した経済生活が営めるように経済的自立の重要性や社会全体の経済についても理解する。	a：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための知識を身につけている。 b：消費生活と生涯を見通した掲載の計画・管理、生活設計について考え、工夫し、表現している。 c：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 レポート	プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど
三学期	第７章 衣生活をつくる	・被服を着用するに至った社会的・文化的背景を理解する。 ・健康で快適な衣生活にために必要なことを理解する。 ・現代に受け継がれる日本の衣文化や世界の民族衣装についても理解を深める。	a:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切な判断をし、表現している。 c:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど
	第８章 住生活をつくる	・生涯を見通した住生活を考え、快適な住空間を考える。 ・将来の自立に向けて住居の機能やライフステージごとの住空間を考える。	a:安全で快適な住生活を営むための知識を身につけている。 b:住生活の課題を見つけ、解決しようとしている。 c:住生活の関心を持ち、意欲的に学習に取り込もうとしている。	定期考査 作品 レポートなど	作品 プリント レポートなど	授業態度 学習課題の提出 レポートなど

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度